

越路橋(旧鉄道橋)拡幅工事

高 橋 敏 朗*

越路橋は明治 30 年、ロンドンのハンデイ会社の手によつて、信越本線の信濃川に架けられたプラットトラスの鉄道橋で、これを国鉄より譲り受け道路橋として改造し利用するものである。旧橋脚は調査の結果、構造上はなほ危険と判定されたので、ケーソン工法により十分根入のある橋脚を新設した。

工事のあらまは旧橋脚の上で 2 m 扛上して新橋脚上に縦移動し(写真-1)、さらに下測側へ拡幅量の半分だけ横移動(写真-2)したのち、下流側トラスを固定し、

次いで床桁を中央より切断して、(写真-4,5) 2.53 m 上流側へ拡幅し、橋梁幅員を 6.5 m にしたのである。この拡幅作業は前例もなく、慎重を期すため、まず右岸寄りの一連(全部で 4 連)を試験的に実施することになり、33 年 11 月 20 日より着手し、ミゾレ降り続く悪天候にもかかわらず予定どおり 12 月 13 日に無事完了し、中間の継ぎ補足材も正確に取りつけ得て、なんら支障を生じなかつたことは、一応成功したものといえよう。

写真-1 新橋脚へ縦移動完了
(右側は信越本線現橋)

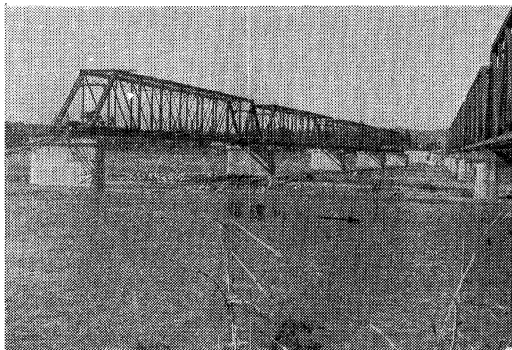


写真-2 下流側へ拡幅量の 1/2(1.265 m) だけ横移動

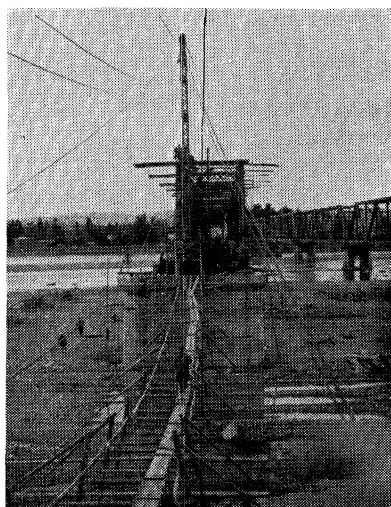


写真-3 下流側トラスを固定し上流側へ拡幅 2.65 m 横移動完了

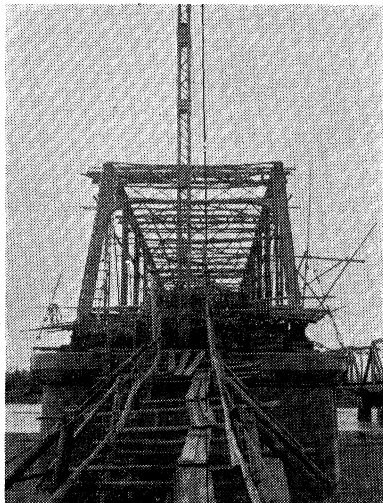
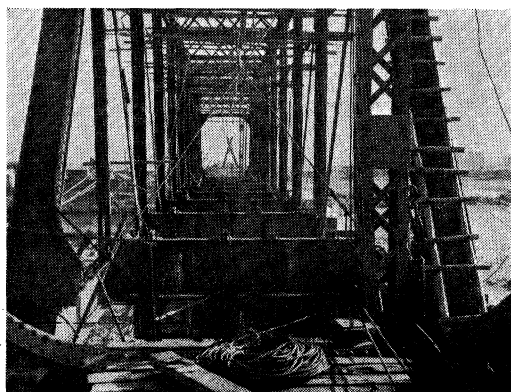


写真-4 Floor Beam の中央に切断線および鉋孔をあげ、ターンバックルをつけた Sway のワイヤを取付け、Stringer を取りのぞく



* 正員 日本道路公団、十日町来迎寺工事事務所長

写真-5 Floor Beam の下に補強用のビーム
(在来の Stringer) を取りつけて拡
幅する, Upper Lateral も補強用ト
ラスを取りつけてある

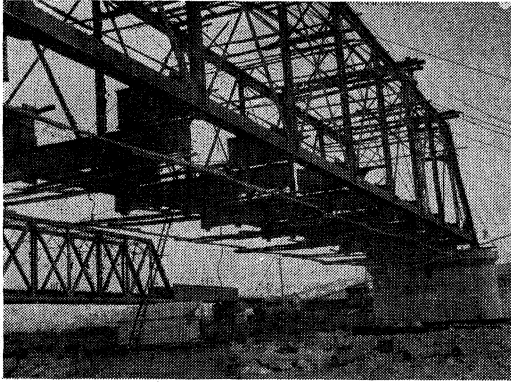


写真-6 写真-2 の横移動は 9kg レールを
5本並べ, 摩擦面にはグリースを塗
り, 50t ジャッキを使用した

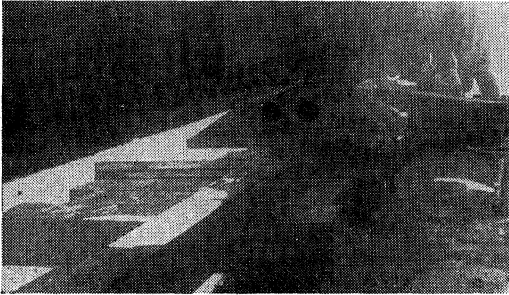
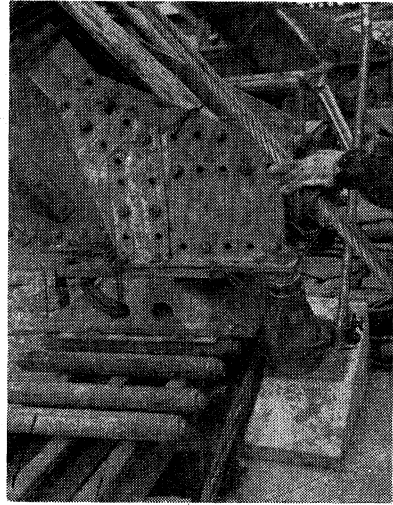


写真-7 写真-3 の拡幅は 37kg レール
3本の上にφ76×609のコロを並
べて50t ジャッキをトラス両端に
使用した



資料提供のお願い

現場の方々は非常に御忙しいことと思いますが、
機会のあるたびに、資料を御投稿載せたいと存じま
す。活用される場合を考えて、類似の資料を収集、
整理された上、これらを取りまとめ、かたよりのな
い、比較のための資料として御投稿下されば大変有
難いと思います。ナマのデータでも当方で手を加え
れば役立つものも多いので、なるべく多数、各方面
からお寄せ下さい。

【編集部】

学会備付図書(国内)一覧(33)


I. 昭. 34. 1. 間に寄贈を受けた分

○土木学会 中・四支部 第10回学術講演会講演要旨
昭. 33. 11. 26~27 ○壁体を有する建物の耐震性状に
関する研究(I): 工博 内藤多伸 外10名(早大第一理
工学部建築学科教室) ○コンクリート辞典: 工博 近

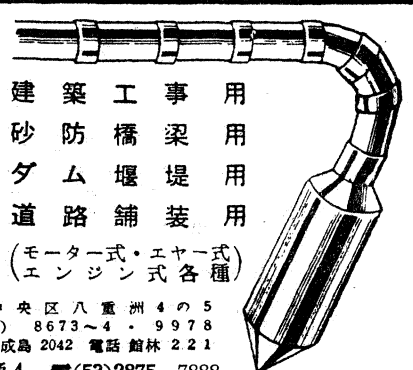
藤泰夫編(日本セメント技術協会) ○主要建造物年表
明治以降(東京建設業協会) ○日本建設年鑑 昭34年
版(日刊建材新聞社)

II. 昭. 34. 1. 間に購入した分 なし


付記 前回(32)は 44-1-p.45 に掲載



コンクリート
パイプ



建築工事用
砂防橋梁用
ダム堰堤用
道路舗装用
(モーター式・エヤー式
エンジン式各種)



三笠産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲4の5
営業所 TEL (28) 8673-4・9978
工場 群馬県館林市成島2042 電話 館林 221

西部地区総発売元 三笠建設機械株式会社 大阪市西区立売堀北通4 電(53)2875・7888